

日中国際産業連関表ワークショップ（概要）

1. 日時 2012年3月2日（金） 9:00-17:30
（日本語・中国語同時通訳付き）
2. 場所 北京亮馬河飯店会議センター 2階万黛庁

3. 概要

WTO加盟により、中国の諸外国との経済・貿易関係は飛躍的に拡大した。2007年以降、中国は日本にとって最大の貿易国となった。2010年には、日中貿易総額は初めて3,000億ドル（日本側統計）を突破した。日中経済の相互依存関係の深化を背景に、両国間の経済実態を数量的・構造的に分析するツールが求められており、国際産業連関表はそのための極めて有用なツールである。

JICAと中国国家統計局は、経済産業省の協力を得て、2009年から3年間の予定で、「国際産業連関表作成による統計整備プロジェクト」を実施している。本プロジェクトは日中国際産業連関表を作成する手法・体制の構築を目標とし、中国の産業連関表作成従事者を対象にした訪日研修と国内研修を実施してきた。

2012年3月のプロジェクト終了にあたり、中国・北京市でワークショップを開催し、日中のプロジェクト専門家による成果発表と同時に、同成果の活用方法、今後の課題等に関する日中双方の代表の意見交換を行う。

4. 目的

日中の統計関係者および経済政策・実務担当者に対し、日中国際産業連関表（プロトタイプ表）の作成結果、正式表の作成計画を共有する。また、日中国際産業連関表を基に行った実証分析（経済・貿易構造分析、国際分業構造分析、雇用分析、エネルギー・環境問題分析等）の発表・討論を通じて、本表の経済分析・政策立案への活用可能性に関する上記関係者の理解を深める。

5. 主催 JICA、国家統計局 協力 経済産業省

6. 日程

日付	時間	プログラム	講演者
3月 2日 午前	8:00-9:00	受付	
	9:00-9:05	開幕式 中国側挨拶	中国国家统计局
	9:05-9:20	開幕式 日本側挨拶	日本経済産業省 在中国日本大使館 独立行政法人 国際協力機構
	9:20-9:35	基調講演	中国投入産出学会 劉起運 教授
	9:35-9:50	基調講演	日本慶応義塾大学 清水雅彦 常任理事
	9:50-10:30	日中国際産業連関表の概要	日本経済産業省 荒川晋也 統計指導官
	10:30-10:45	ティーブレーク	
	10:45-11:25	中国プロトタイプ表の作成方法・課題	中国国家统计局 劉慧平 処長
11:25-12:05	日本プロトタイプ表の作成方法・課題	日本経済産業省 谷川隆通 参事官補佐	
	12:05-13:30	昼食	
3月 2日 午後	13:30-14:00	研究報告1: 日中国際産業連関表からみた経済構造の比較	日本アプライドリサーチ研究所 時子山真紀 研究員
	14:00-14:35	研究報告2: 日中間の産業連関性と経済依存関係	中国人民大学 夏明 副教授
	14:35-15:10	研究報告3: 日中国際産業連関表を用いた日中貿易構造の実態に関する実証分析	日本慶応義塾大学産業研究所 宮川幸三 准教授
	15:10-15:25	ティーブレーク	
	15:25-16:00	研究報告4: 日中貿易関係の両国の雇用・労働者報酬への貢献	中国国家信息中心 張亜雄 副研究員
	16:00-16:35	研究報告5: 日系企業の海外生産を通じた日中経済の相互依存の分析	日本中京大学 山田光男 教授
	16:35-17:10	研究報告6: 日中貿易のエネルギー・環境への影響分析	中国科学院数学・系統科学研究所 楊翠紅 研究員
	17:10-17:20	共同研究の将来的展望	日本経済産業省
	17:20-17:30	閉幕式	中国国家统计局